(大北地域)

平成 27 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| 事業名 | 草木染による地域づくり事業 |
|-------|-----------------------------|
| 事業主体 | 信濃大町草木染め研究会 . |
| (連絡先) | (大町市大町 3302 NPO 地域づくり工房) |
| 事業区分 | オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興 |
| 事業タイプ | (3) 教育、文化の振興に関する事業 |
| 総事業費 | 575,912 円(うち支援金: 420,000 円) |

事業内容

農具川のアヤメにはじまり、りんご、藍等地元の草木・ 花の染色、又中山高原のそばに着目し、名産品であ るそばの花・葉・茎を染色に活用し、PR。

講習会、展示会を開催し、消費者のニーズに合う商品 化をめざす。

講習会:講師、内容(以下の通り)

麻績村地域おこし協力隊 田中美沙氏、草木染体験 田中直染料店 高橋誠一郎氏、花びら染め講習会 わちがい 渡邉充子氏の、展示方法と商品アドバイス NPO 日本ファイバーリサイクル推進協会 木田豊氏、リクチュール 講習会

展示会:農具川岸周辺、中山高原、わちがい、信濃 大町草木染め研究会講習会場にて開催

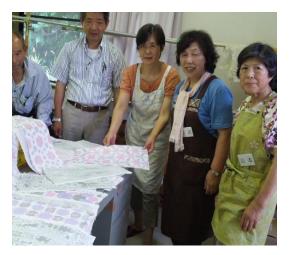
事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効 果があったか、項目毎に記載すること。

地元和紙への花びら染めが、木崎湖灯篭流 しに使われ、伝統工芸品商品化のきっかけ 作りとなった。

子どもからお年寄りまで、体験により喜ん でもらえた。

環境にも配慮して、地域資源をいかす、リ クチュールとのコラボについて学ぶこと ができた。



【和紙への花びら染め】

【目標・ねらい】

- ① 染色技術の向上
- ② 消費者にニーズに合う商品化
- ③ 地域資源を生かし、付加価値 をつけて、体験学習等も行い、 誘客、活性化につなげる

※自己評価 【 B 】

【理由】

課題として、花染めの技術向上や 和紙商品を作ることと、リクチュ ールとのコラボがあげられる

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

地域の歴史に学び、地域資源を生かすべく、リクチュールとのコラボも進める。 地域での展示会、講習会を充実させることにより、楽しみながら、仕事おこしにもつなげる。 花びら染めの技術向上、商品開拓、販売方法について研鑽し、ステップアップを目指す。 カフェやイベントなどで、地場産品とともに、周知しながら広めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある